

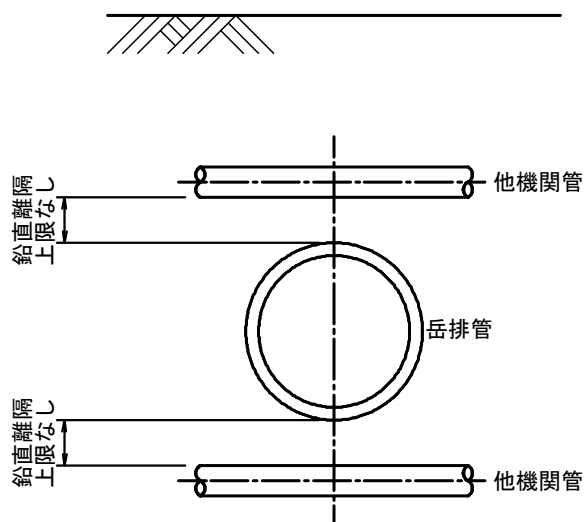
岳南排水路管路施設近接施工マニュアル

平成 31 年 4 月 1 日
岳南排水路管理組合

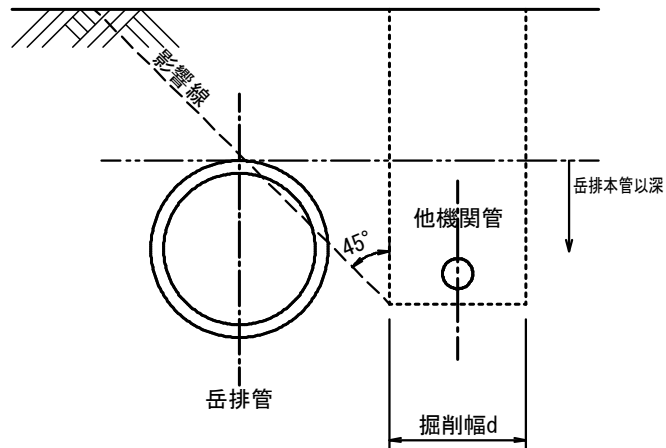
1 対象となる近接工事

他機関の埋設物布設にあたり、岳南排水路管理組合との協議の対象となる近接工事は、次のとおりとする。なお、その他、岳南排水路管路施設(以下「岳排管」とする。)への影響が大きい場合についても同様に協議の対象とする。

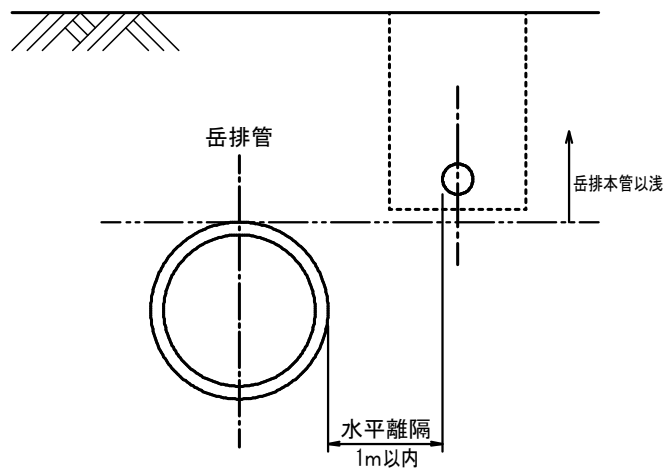
- (1) 施設の上部及び下部を横断する工事。



- (2) 施設の上端より深く掘削する工事で、しかも断面的に施設の中心から掘削線までの水平距離と同じ長さ以上の工事。(掘削底面からの 45° 影響線が岳排管の一部にかかる場合)



- (3) 施設の上端より浅く掘削する工事で、しかも水平距離が施設の最外側より 1m 以内の工事。



(4) 岳南排水路管理組合管理地内での工事

- 1) 岳南排水路管理組合管理地内に構造物を埋設する場合は、すべての工事において協議を必要とする。また、同時に占用に関する協議及び申請が必要となる。
- 2) 岳南排水路管理組合管理地内に重機等を据える場合は、その荷重に対して岳排管が安全であることを構造計算等により証明する必要がある。計算手法は、「道路土工カルバート工指針(公社)日本道路協会」等の公的な指針による。また、同時に一時占用に関する協議及び申請が必要となる。

2 他機関埋設物との離隔

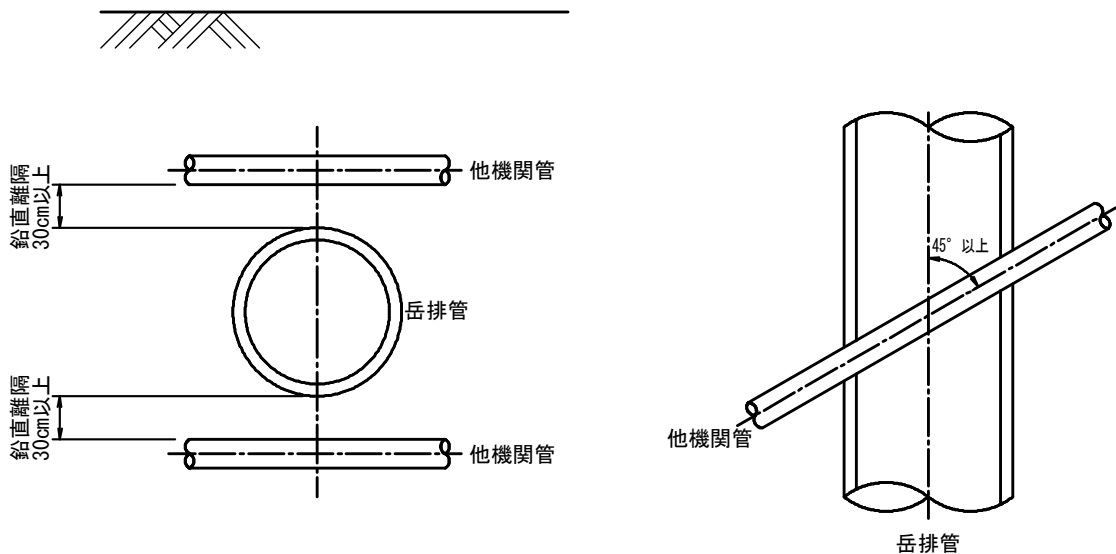
岳排管と他機関埋設物との離隔は、以下のとおり確保することを原則とする。ただし、やむを得ない場合は協議により決定するが、その際、岳排管への影響を最小限に抑える対策を講じ、協議を進めるものとする。

なお、岳排管位置が不明確な場合は、試掘にて確認することが望ましい。

(1) 岳排管きよと横断管の離隔

岳排管きよの上下を横断する場合の離隔は、30cm 以上確保することを原則とする。ただし、他機関管の規模が著しく大きい場合は、岳排管への影響を最小限にする対策を求める場合がある。また、横断する角度は、90° (直角)とすることが望ましいが、状況により 45° まで許容する。なお、やむを得ない場合は、協議により決定する。

※ 大規模な構造物や軟弱地盤中への布設など、岳排管に大きな影響を与えることが想定される場合は、杭などにより沈下対策を施すものとする。また、推進工事など地盤の緩みや精度が不明確な場合は、原則として 100cm の離隔を確保するものとする。その場合も試掘にて確認することが望ましい。



(2) 縦断近接の離隔

1) 岳排管きよと縦断近接管との離隔

岳排管きよに対し縦断的に近接する場合の離隔は、表 2-1 並びに表 2-2 のとおり、岳排管きよの管径又は他機関埋設物の管径のうち大きい値を確保することを原則とする。ただし、やむを得ない場合は協議により決定する。

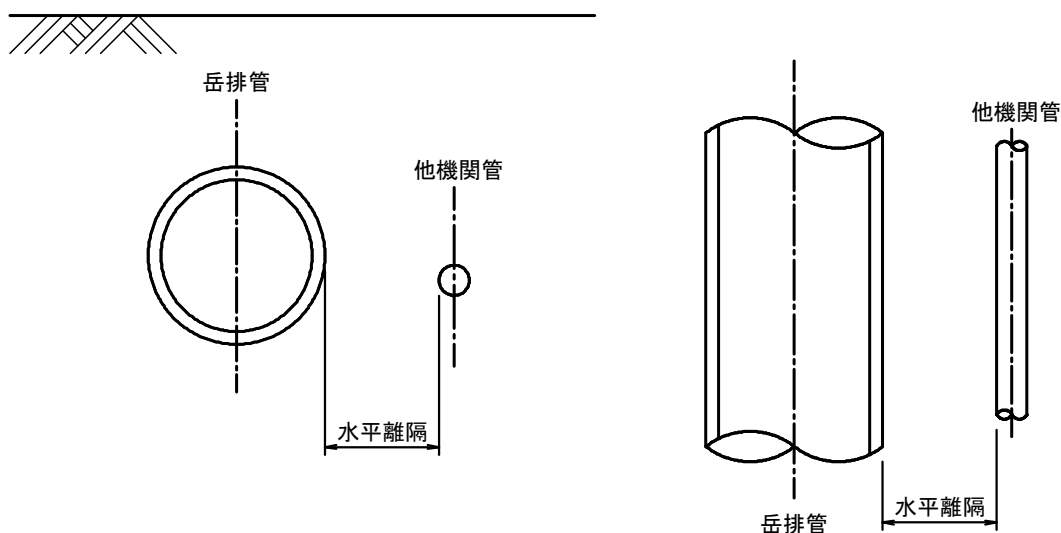


表 2-1 岳排管きよの管径ごとの水平離隔

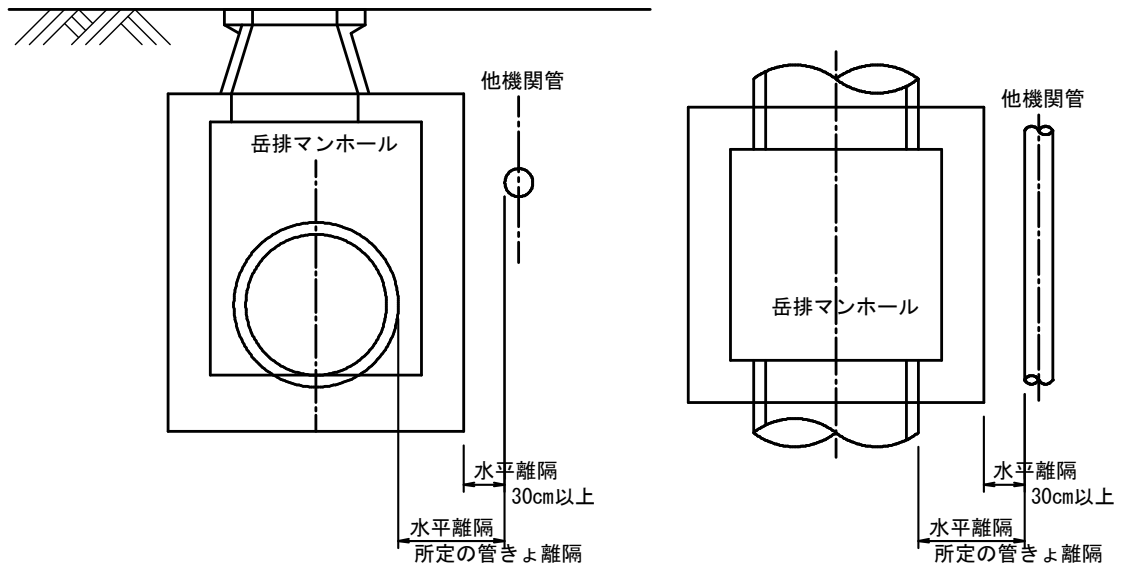
岳排管径	水平距離
φ 500mm 以下	30cm 以上
φ 500mm 超 φ 800mm 以下	50cm 以上
φ 800mm 超	100cm 以上

表 2-2 他機関埋設物の管径ごとの水平離隔

他機関埋設物管径	水平距離
φ 500mm 以下	30cm 以上
φ 500mm 超 φ 800mm 以下	50cm 以上
φ 800mm 超	100cm 以上

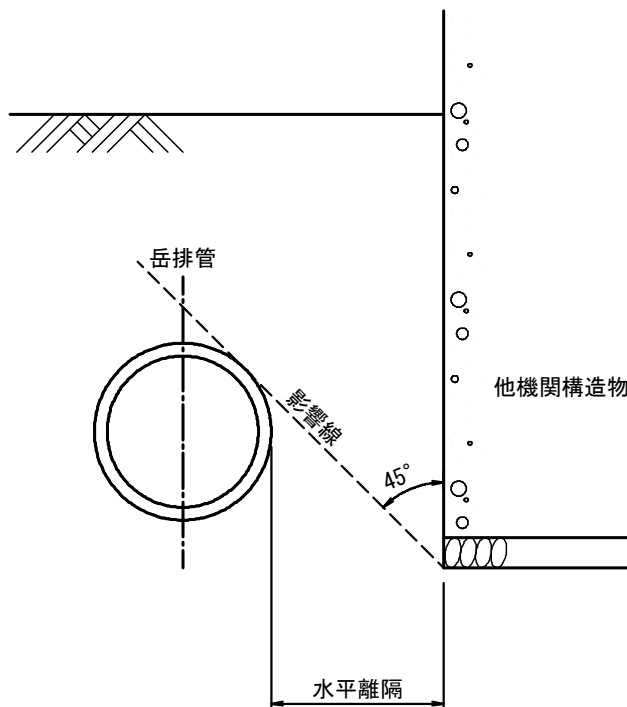
2) 岳排マンホールと縦断管の水平離隔

岳排マンホールに対し縦断的に近接する場合の水平離隔は、躯体より 30cm 以上且つ所定の岳排管きよとの離隔を確保することを原則とする。ただし、やむを得ない場合は協議により決定する。



(3) 岳排管きよと構造物の離隔

岳排管きよに近接して構造物を築造する場合は、下図のとおり離隔及び影響線角度を確保することを原則とする。ただし、やむを得ない場合は協議により決定する。



3 地下埋設物の照会、協議及び立会

- (1) 岳排管位置は、「様式第 1 号 工事に伴う岳南排水路への影響の有無について（照会）」により下記埋設確認担当部署に照会する。
- (2) 協議を必要とする場合、工事の施工方法、保安対策及び立会の時期等について、下記協議担当部署と協議することになるが、このうち立会については積極的に行うことが望ましい。なお、協議は、「様式第 2 号 工事施行協議書」の提出により開始し、「様式第 4 号 工事施行協議について(承諾)」により回答する。

- ① 埋設確認担当部署：総務課 業務係

TEL 0545-51-2667

FAX 0545-51-2676

E-MAIL ex-gakuhai@div.city.fuji.shizuoka.jp

- ② 協議担当部署：施設課 管理係

TEL 0545-51-2883

FAX 0545-51-2676

E-MAIL ex-gakuhai_kanri@div.city.fuji.shizuoka.jp

参考 1 岳南排水路の防護【岳南排水路維持管理指針 P82】

施設の保安を図り、道路陥没等の事故を未然に防止するためには、単に施設を保護するだけでなく、防護を施すことが必要となる。

1) 防護の事前協議及び対策

掘削工事等の施工に伴い、既に設置されている施設の構造及び機能の保全に支障が生ずる場合又はその恐れのある場合は、防護方法等について、事前に十分な協議を行い、他工事の施工者又は管理組合が行う施設の防護措置を明確にするとともに、立会、測量及び現状写真等を要求し、施設にかかわる事故の防止に万全を図ることが大切である。

2) 防護の方法

防護は、他工事の施工により、岳南排水路施設の構造及び機能の保全に支障が生ずる場合について、他工事の施工者の負担において行うが、防護の施工方法等には次のような方法がある。

① 他工事の施工者が行う防護方法

- ア つり防護
- イ 受け防護
- ウ 横振れ防止
- エ 段掘り覆工

② 他工事の施工者又は管理組合が行う防護方法

- ア 移設又は切回し
- イ 仮配管、仮排水
- ウ 管種変更
- エ 使用制限
- オ マンホールの仮改造

③ 防護の施工方法

- ア 試掘、探針等による施設位置の確認
- イ 杭、矢板の打込み又は舗装取壊し時における施設への衝撃、損傷を与える恐れのない工法の選定
- ウ 工事用重機械類の施設への直接載荷防止のため覆工板等の使用
- エ 施設周囲の掘削は人力による施工
- オ 施設の長期露出に対し、緊急連絡先等を明示した標識の設置
- カ 土砂の埋戻し時における衝撃の防止及び側土圧の確保
- キ 杭、矢板の引抜きにおける可否の確認
- ク 薬液注入材の施設への浸入の監視

なお、防護を他工事の施工者が行う場合には、下水道法第 31 条の規定により準用される同法第 16 条の規定により、管理者の承認を受けて施工する工事として取扱うことが望ましい。

工事に伴う岳南排水路への影響の有無について(照会)

照 会	照会日	年 月 日		
	工事箇所			
	工事区間略図	ゼンリン地図 (富士東部 富士西部 富士宮) P.		
	工事内容	掘削深さ	m	
	照会者社名			
	代表者名			
	住所			
	担当者連絡先	担当者		
		TEL	FAX	
	施工会社	社名		
担当者				
工事着工予定日	年 月 日 ()			

上記について、次のとおり回答します。

- 回答
- イ) 埋設物はありません。
 - ロ) 埋設物があります。詳細な図面を用意しますので、連絡の上、事前協議をお願いします。
 - ハ) 埋設物がありますが、協議不要です。
 - ニ) 埋設物があります。近接しているため、協議が必要です。
 - ホ) その他()

連絡先 岳南排水路管理組合
 埋設照会窓口:総務課 業務係 TEL 0545-51-2667
 FAX 0545-51-2676

回答日	年 月 日
扱い者	

お 願 い	<ol style="list-style-type: none"> 1 照会には、位置図を添付してください。 2 照会はFAXでも受け付けていますが、行き違いがあるため、なるべく来庁してください。 3 岳南排水路に影響があると思われる箇所の工事を行う時は、必ず本様式による照会をしてください。 4 お渡しする図面は現状と相違する場合がありますので、参考に留め、現地確認を必ず行ってください。 5 協議を要する場合は、平面図及び断面図に岳南排水路との離隔を記載してください。 6 立会いの要否については、協議時にお知らせします。 7 岳南排水路に接続している工場下水路(取付管)については、所有している各工場にお問合せください。
-------------	---

(様式第 2 号)

<p>工 事 施 行 承認申請 書 協 議</p> <p>年 月 日</p> <p>様</p> <p>申請者 住所 氏名</p> <p>次のとおり工事を施行したいので承認申請・協議します。</p>	
工 事 の 目 的	
施 工 箇 所	市 町 番 号 (岳 南 号 第 排 水 路 付 近)
工 事 期 間	年 月 日 から (日間) 年 月 日 まで
工 事 概 要 (添付図面を○印で囲む)	(添 付) 案内図・平面図・縦断図・横断図・構造図 (図 面) 工程表・その他 ()
備 考	
工 事 担 当 連 絡 先	担 当 部 課 名 担 当 者 名 電 話 (内線)

(様式第 3 号)

岳排管施第 号
年 月 日

様

岳南排水路管理組合管理者
富士市長

工事施行承認申請について(承認)

年 月 日受付の 工事
について下水道法第16条の適用を受ける工事として同法第33条
第1項の規定により下記の条件を付して承認します。

記

- 1 工事施行に際しては、別紙立会時期の事前にその日時を連絡し、立会を受けること。
- 2 工事が完了したときは、工事内容を十分把握するのに必要な完工図及び写真を提出すること。

(様式第 4 号の 1)

岳 排 管 施 第 号
年 月 日

様

岳南排水路管理組合管理者
富士市長

工事施行協議について(承諾)

年 月 日受付の 工事
について下記の条件を付して承諾します。

記

- 1 工事施行に際しては、別紙立会時期の事前にその日時を連絡し、立会を受けること。
- 2 工事が完了したときは、工事内容を十分把握するのに必要な完工図及び写真を提出すること。

立 会 時 期

- 1 事前調査試掘
- 2 杭、矢板の工事
- 3 管きよの露出時
- 4 掘削を完了したとき
- 5 吊り防護が完了したとき
- 6 受防護が完了したとき
- 7 管きよの下端まで埋戻したとき
- 8 管きよの埋戻し完了時
- 9 その他のとき

※ 不要な項目は棒線にて抹消のこと。

(様式第 5 号)

立会結果記録		局 長	課 長	係 長	係			
立会依頼機関名								
立会工事名		工 事						
立会日時		年	月	日	AM PM	時	天 候	
立会箇所		市 地 先 (岳南 号第 排水路 付近)						
立会者 氏 名	岳 排							
	依頼機関							
	施工業者							
<u>立会結果所見</u>								
<u>指示要請事項</u>								
<u>処理事項</u>								
<u>報告に対する指示・意見</u>								
起案者	年 月 日 ()					印		

(様式第 6 号)

年度工事立会記録簿

No.

立会 番号	立会依頼者名 (機関名及び担当者)	協議書等 受付番号	立 年 月 日	立会箇所	立会項目	所 見	立会者
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				
		第 . . 号	. . .				

(工事)
立会点検確認事項

施 行 者
工 期

乃 年 月 日
至 年 月 日

立会時期	点検確認事項	立会時期	点検確認事項
<input type="checkbox"/> 事前試掘調査	<input type="checkbox"/> 管種(A・B・C・その他()) <input type="checkbox"/> 管径(mm) <input type="checkbox"/> 位置(別紙平面図のとおり) <input type="checkbox"/> 管の異常の有無(有・無) <input type="checkbox"/> 人孔形状,寸法(別図のとおり) <input type="checkbox"/> 管きよ内水位(水深 cm) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 受防護完了時 <input type="checkbox"/> 管の下端まで埋戻したとき	<input type="checkbox"/> 支持具の位置の適否(適・否) <input type="checkbox"/> 管体の損傷の有無(有・無) <input type="checkbox"/> 漏水の有無(有・無)
<input type="checkbox"/> 杭, 矢板の工事	<input type="checkbox"/> 杭又は矢板と管きよとの距離(m) <input type="checkbox"/> 漏水, 湧水の有無(有・無) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 管基礎の状況の適否(適・否) <input type="checkbox"/> 管体の損傷の有無(有・無)
<input type="checkbox"/> 管きよの露出時	<input type="checkbox"/> 管体の損傷の有無(有・無) <input type="checkbox"/> 他埋設物との距離(水平 m) <input type="checkbox"/> 垂直 m) <input type="checkbox"/> 漏水の有無(有・無)	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 管体の損傷の有無(有・無)
<input type="checkbox"/> 掘削完了時	<input type="checkbox"/> 掘削の深さ(m)	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 管体の損傷の有無(有・無)
<input type="checkbox"/> 吊防護完了時	<input type="checkbox"/> 支持具の位置の適否(適・否) <input type="checkbox"/> 支持具のゆるみの有無(有・無) <input type="checkbox"/> 管体の損傷の有無(有・無) <input type="checkbox"/> 漏水の有無(有・無)	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 管体の損傷の有無(有・無)
摘 要 欄			